

## 19年度SVCK交流会資料まとめ

平成19年度7月1日開催

### SVCK（災害ボランティアセンター検討会）は

アイ・あいロビーが災害時にボランティアセンターとしてどうあるべきか、そしてその為に平常時にはどうすれば良いのかを検討する会です。

以前から運営委員会やアドバイザー会議でも議題にはあがるもののなかなか進展せず、第5回のボラフェスでも防災をテーマに取り組みましたが継続には繋がりませんでした。

そんな中で16年度に行われた府社協主催の災害ボランティアの研修やワークショップ等に参加したメンバーで検討会を作ろうということになり、運営委員会で承認を得て、推進協議会でもぜひ進めて欲しいというお言葉をいただき、昨年の6月より毎月20日の11時より検討会を開いています。

### 1. 18年度の主な活動報告

- 2006/03/01 災害ボランティア登録スタート アンケート調査
- 2006/06/25 交流会開催
- 2006/08/01 メーリングリストスタート
- 2006/08/31 SVCK 配布資料、パネル用作成（災害Vの紹介）
- 2006/09/10 防災とボランティア市民の集いに参加（パネル展示など）
- 2006/10/01 ホームページ掲載開始
- 2006/11/18 ボラフェス参加（災害グッズ配布、ビデオ上映など）
- 2007/01/20 ワークショップ（災害VCのしくみ、組織図、レイアウトなど）
- 2007/01/23 阿倍野防災センター見学

### 補足資料（災害VCのしくみ）



## 補足資料 (被災者の立場でできるボランティア活動)

災害発生直後  
私はここにいます!

**I Am Alive Alliance**

まずは、自分の安全の確保、そして私はここにいますと宣言します。知人同士の安否確認の為、被災状況を把握する為に必要です。

日頃から家族や知人と連絡方法を決めておきましょう。

NTTの災害用伝言ダイヤル(171)

IAA Alliance (被災者情報登録検索システム) などパソコン、携帯、FAX等を利用した非常時のシステムも前もって調べておきましょう。

NTT <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

### 12時間～48時間以内

災害VCが立ち上がる

この時期は、他の市町村からプロのスタッフが応援にきて準備を始めます

まだ情報が錯綜している時期でもあるので、

近くにいる人が互いに協力して助け合うことが大切です。

### 復興期

アイ・あいロビーへ  
バトンタッチ

災害VCの情報を整理し、今後の課題を検討し、残された問題を、日常のアイ・あいロビーの活動の中へ移行して続けていかなければなりません。



私たちの出番ね!

### 2週間～2ヶ月

少しずつ日常生活を取り戻し始める中で、避難所や仮設住宅での生活でストレスが生じてくる時期でもあります。

この時期こそ日頃のボランティア活動が役立つ時です。

アイ・あいロビーには、さまざまな特技を持った人たちがたくさん登録されています。その特技を活かして、高齢者や障害者支援、子育ての手伝い、外国人のサポートなど、精神的なサポートが大切になってきます。

応援ボランティアと被災者をつなぐ橋渡し

他の市町村からの応援ボランティア受け入れも始まりますので、活動が円滑に進むよう協力することが大切です。

地元のボランティアが、日頃から培ってきたネットワークが役立ちます。

## 補足資料 (災害時に求められるボランティア活動一部紹介)

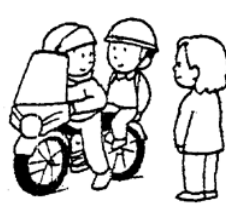
屋内・屋外片付け

被災住民の安否確認

運転・移送サービス

保育及び自動の世話

障害者支援



## 2. 19年度活動予定

マニュアル作成に向けて（概要版、実践版）

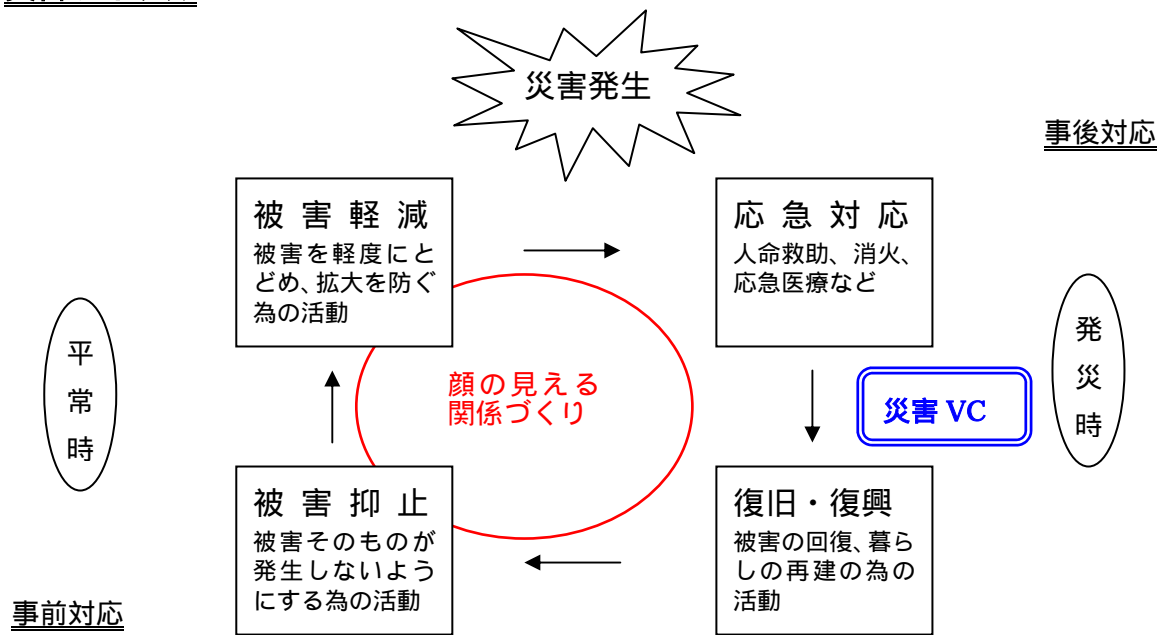
広報・啓発活動（ホームページ作成等）

研修・見学会（稲村の火の館）秋頃

顔の見える関係作り（行政、桃大、小学校、福祉施設など）

補足資料（平常時の活動 地域防災の課題）

### 災害サイクル



行政・関係機関、その他の各種団体との連携の確認  
地域の防災訓練、地域の安全点検、避難所設置訓練  
災害ボランティアコーディネーターの人材養成  
災害ボランティアセンターの設置、運営訓練  
要援護者対応



### 3. 能登半島地震から学ぶこと

#### 能登半島地震被災状況（石川県）

発生日時 平成19年3月25日 9時42分頃  
震源地 能登半島沖（北緯37.2度、東経136.7度）  
震源の深さ 11km  
規模 マグニチュード6.9（暫定値）  
死者1名、重傷者73名、軽傷者271名  
全壊641戸、半壊1,596戸、一部損壊13,987戸  
避難所数 43カ所 避難者数 2,624人（3/26）

#### 能登半島地震 ライフライン等復旧状況

電気 最大1日半 16万戸（2/26 16:30 復旧）  
水道 最大12日 13,290戸（4/7 8:00 復旧）  
通信機（電話） 発信規制約半日（14:10 頃解除）  
通信機（携帯） 発信規制約半日（15:19 頃解除）

停電によるバッテリー枯渇の為3月25日20時頃から石川県内の基地局が停波していたが、仮設局の設置により、3月30日22時50分までにすべて復旧

道路 県道 14路線 17箇で一時所通行止め

能登有料道路「別所岳サービスエリア」に取り残された132名については、17:20七尾市中島支所への移動完了

交通 のと鉄道運転停止 3/30 6時再開  
JR七尾線 約一日運休



#### 平常時の備え

家族会議（避難所の確認、もし放れている時に災害が起きたらどうやって連絡を取るか）

171 災害伝言ダイヤル

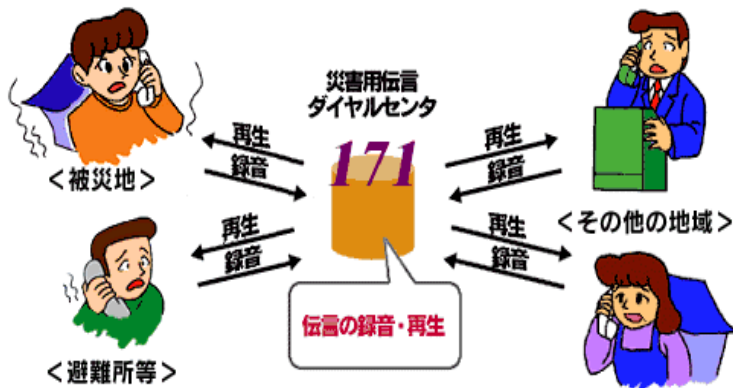
（携帯会社は家族で揃えておくと便利）（操作方法を一度は試しておきましょう）

水の確保

食料の確保

その他の防災グッズ

家の安全性を調べる



ボランティア関連の参考資料

2007年能登半島地震 ボランティアセンター受付数 (全社協 福祉救援・災害ボランティア情報のまとめより抜粋)

	穴水町災害対策 ボランティア現地本部		輪島市災害ボランティア センター輪島		輪島市災害ボランティア センター門前		合計		シャトルバス	七尾市社協	心援 スタッフ	備考
	社協事務所		文化会館		小学校 サンセットパーク					ボラセン		
	ボランティア	ニーズ	ボランティア	ニーズ	ボランティア	ニーズ	ボランティア	ニーズ		ニーズ		
3/28 水	108	23			133	29	241	52		検討	5	避難所約2600人
3/29 木	299	38			116	23	415	61			5	シャトルバス運行開始
3/30 金	53	9	226	94	311	43	590	146	266		5	足湯隊活動開始
3/31 土	219	33	99	42	409	128	727	203	866	把握	5	
4/1 日	154		138		569		861	0	647	30	5	避難所約900名
4/2 月	74		30		192		296	0	127		5	
4/3 火	94		63		356		513	0	207		5	
4/4 水	109		102		308		519	0	342		5	
4/5 木	153	24	110	23	259	54	522	101			12	
4/6 金	87	22	16	13	301	45	404	80			32	
4/7 土	106		65		218		389	0	173		36	断水解消
4/8 日	21	23	78	10	235	34	334	67			?	うるうるバック配布開始
4/9 月	66	21	57	18	147	30	270	69	81		30	
4/10 火	58	21	40	12	172	29	270	62	99		28	
4/11 水	111	40	86	24	422	41	619	105	424		37	
4/12 木	198	40	13	14	198	45	409	99	267		40	
4/13 金	218	9	11	17	294	42	523	68	310		29	仮設受付開始
4/14 土	44	7	40	5	103	49	187	61	163		?	
4/15 日	61	26	30	3	136	39	227	68	202		?	避難所約300名
4/16 月	8	3	4	5	79	22	91	30	?		31	
4/17 火	4	1			181	28	185	29	?		35	
4/18 水	5	2	4	10	83	24	92	36	?		19	
<b>合計</b>	<b>2,250</b>	<b>342</b>	<b>1,212</b>	<b>290</b>	<b>5,222</b>	<b>705</b>	<b>8,684</b>	<b>1,337</b>	<b>4,174</b>	<b>30</b>	<b>369</b>	

心援スタッフ: 県社協、県内市町村社協、社協東海北陸ブロック、災害支援プロジェクト会議等からのスタッフの合計です。

## ボランティア関連の参考資料 うるうるパック (RSY レスキューストックヤード)

気持ちがあってもなかなか支援が難しいと思っている人同士が力を合わせ、被災地および周辺の地元の方々による被災者への訪問活動や声かけ・聞き取り活動に対する応援の一助として、「うるうるパック」をお届けする企画

- (1)経団連 1%クラブ等が、各企業に以下の品々の提供を呼びかけ
- (2)それらを名古屋で仕分けして「うるうるパック」として、各被災現場へお届け

### < 第1弾： 基本パック 5000 >

配付先：各地域の避難所、被災住民、高齢者世帯など

内容案：タオル、石鹸、ウエットティッシュ、軍手、お菓子、その他パック用袋等


### < 第2弾： 始業式応援パック 1000 >

配付先：被災地の小学校（1年から6年もしくは、低学年）

内容案：文具（鉛筆、ノート、消しゴム等）、お菓子、その他パック用袋等

### < 第3弾： 生活応援パック >

第1弾、第2弾の終了後に調整、仮設住宅生活者・半壊家庭などを配付先に想定



被災されたみなさまへ

このたびは、突然の地震による被害に遭われたこと、心からお見舞い申し上げます。

この「うるうるパック」は、企業とNPOの方々からのささやかなお見舞いの気持ちです。

一日も早い復興をお祈り申し上げます。

災害ボランティア活動支援プロジェクト会議

RSY (レスキューストックヤード) <http://rsy-nagoya.com/rsy/urupack.html>

日本経団連 1%クラブ <http://www.keidanren.or.jp/japanese/profile/1p-club/news/20060823.html>

## ボランティア関連の参考資料 中越・KOBÉ 足湯隊 (被災地 NGO 協働センター)

阪神・淡路大震災で生まれ、新潟県中越地震で育てられ、被災者に喜ばれた！

足湯を通じて被災者の体と心にそっと触れ、

ボランティア達と会話するといつの間にかポツリと

本音を語り始める。

そのつぶやきをひたすら聞くことが「足湯隊」の活動です。



活動報告とつぶやき <http://www.pure.ne.jp/~ngo/>

どちらも、災害のショックで傷ついた被災者の心を自然にほぐしてくれる活動で、災害ボランティア活動の際に一番の課題である「ニーズの聞き取り調査」にとっても役立っています。

#### 4. 今回準備した非常食

マジックライス (株式会社サタケ) <http://www.satake-japan.co.jp/ja/products/foods/>



玄米サラダ



エビピラフ

しそわかめごはん

豆乳がゆ



お茶漬

パンの缶詰 (名古屋ライトハウス KAN食品開発センター) <http://pan.e-nakama.jp/product.htm>



誰でもカンタンに開けるイージーオープン缶

保存食の常識を越え、焼きたてのようにふっくらやわらか

1缶2個入り、防腐剤などは一切使用していません

点字シールも作成、ライトハウスならではのサービス

#### 補足資料 アルファ化米って？

生米中のでんぷんは「ベータ( )でんぷん」という状態にあり、そのまま食べることはできません。このベータでんぷんは、水と熱を加えることにより消化の良い「アルファ( )でんぷん」に変化します。この作業が「炊飯」であり、「アルファ化(化)」といえます。生米がアルファでんぷんに変化したものが「ご飯」ということになります。



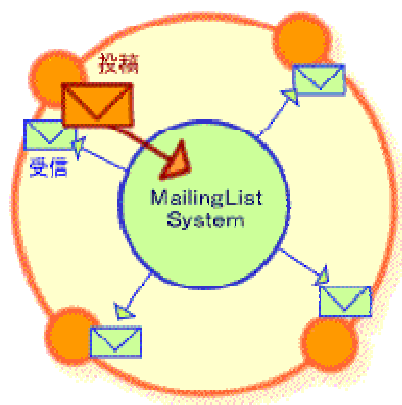
アルファ化したでんぷんをそのまま放置すると、そのアルファでんぷんは消化のできないベータでんぷんに、また戻ってしまいます。炊いたご飯を放置して固い冷や飯になってしまったときのような、こういう変化を「ベータ化(化)」といえます。水分量30~60%、温度2~3程度のときに最もベータ化が進行するのですが、これはちょうどご飯を冷蔵庫で保管した時の状態です。

このベータ化は、水分量10%以下の乾燥状態ではほとんど進行しません。この性質を利用しているのが「アルファ化米」であり、「マジックライス」なのです。

## メーリングリストに参加しませんか？

私たちは、より多くの情報発信をしていくこと、そしてより多くの情報をいただくこと、その過程となる日々のコミュニケーションが減災への第1歩だと考えています。

毎日災害のことばかり考えながら生活はできないし、平常時になかなかいざという時のことは考えられないものです。でも、何かきっかけがあれば考えられるのではないのでしょうか。また、たくさんの人と情報を交換したり意見を交換することによって、そのきっかけも増えるのではないのでしょうか。そんなきっかけ作りの場として、ぜひ、メーリングリストにご参加してみませんか？



メーリングリストとは、メールを使って大勢の人とコミュニケーションすることのできるシステムのことです。Mailing List の頭文字を取り、略してMLと呼ばれています。簡単に言うと、決まったメールアドレスにメールを送ると、参加しているメンバー全員に同じメールがコピーされて送られるしくみです。

事務局からの一方的な情報提供だけでなく、参加しているメンバー全員が送信元にも受信者にもなれるということです。

お問合せ、お申込は **SVCK 事務局**まで

### SVCK 事務局

事務局 和泉市社協 担当 仲谷  
TEL 0725-43-7514 FAX 0725-41-3154  
E-mail : info-aiai@izumi-syakyo.net

メンバー 池辺、笥、木野、澤田、津田、三宅、佐近